

今月のトピック

新年を迎えて

JATA複十字病院 院長 大田 健

新年おめでとうございます。今年2024年（令和6年）を「十干十二支（じっかんじゅうにし）」であらわすと「甲辰（みずのたつ）」になります。甲は十干の最初に出てくるもので、甲冑からイメージされるように種子が厚い皮に守られて芽を出さない状態や、物事に対して耐え忍ぶ状態を表します。そして、辰は「振るう」という文字に由来し、自然万物が振動して草木が成長するための活力が旺盛になる状態を表します。



この意味を私達の迎える新年になぞらえますと、コロナ禍からコロナとの共存の中での更なる社会の正常化に向かうエネルギーが一層加わり、病院の機能の正常化と活性化が大いに期待できる年ということになります。そして将来の本館建て替えに向けて様々な壁すなわち厚い皮を打ち破っていく第一歩を踏み出す年という認識を共有して勇気を持って立ち上がる年であることを暗示しています。これまでの当院の実績、歴史を尊重しながら時代の変化に適応した形にするための努力を全員で払う年にしたいと思います。昨年2023年までの3年間はコロナの診療にエネルギーを注ぎ、また感染防御の観点から検査の実施に種々の制限が掛かり、十分な検査内容や検査件数での診療ができない部分がありました。これ点もほぼ解消しています。当院の特徴で持ち味の呼吸リハビリテーションも復活しています。気管支鏡や消化器の内視鏡検査も検査枠を増やし可能な限り希望される日時で検査が受け入れられる方向で整備しています。コロナ禍の間に最新で高性能のCTやPET/CTを購入しました。治療には最新の放射線照射装置を購入し、フル稼働のための建屋の建築が始まり完成します。さらに診療領域として整形外科と循環器内科の充実を図り、発症頻度が高い疾患に対する診療体制を充実させます。伝統ある健康管理センターに関してもいわゆる健康の維持と促進を基本理念として、受け入れ態勢と検査内容の充実を図り、結果に応じて疾患の発症予防も視野に入れた予防医学的介入についても検討し導入して参ります。登録医の先生方や近隣の病院との関係は競争ではなく協力であることを念頭に地域全体の医療体制の充実に寄与する病院として機能したいと考えております。

自分や家族のかかりたい病院、忙しくても楽しく仕事の出来る職場を念頭に、龍が天に昇るイメージをいただきながら、職員全員で医療に取り組む所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。



第9回 複十字病院地域交流会 開催のご報告

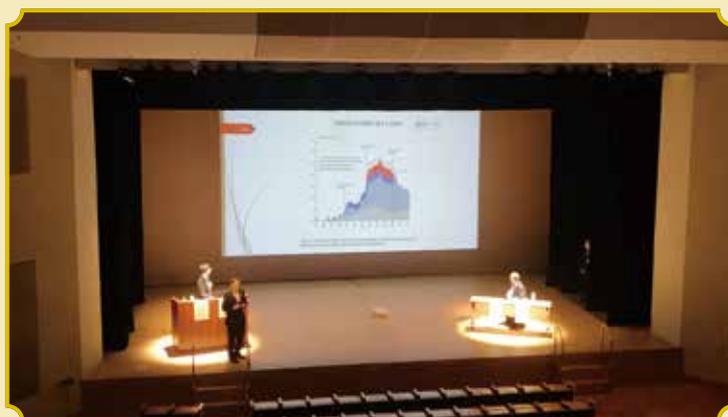
結核予防会複十字病院 地域医療連携支援センター 奥村昌夫

2023年10月26日清瀬けやきホールにおいて、第9回地域交流会が開催されました。2019年11月12日以来で実に4年ぶりの開催でした。

当日は当院より3つの演題、1) 羽生正一郎事務部長より [当院の建て替え計画について]、2) 黒崎敦子放射線診療部長より [複十字病院放射線診療部より新型半導体 PET/CTのお知らせ]、3) 渡邊俊明放射線診療部 (PET・核医学) 部長より [複十字病院放射線診療部より新型半導体 PET/CTのお知らせ] の発表がありました。

続いて特別講演として、結核予防会代表理事・複十字病院名誉院長の工藤翔二先生を座長に、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策分科会前会長であり、現在結核予防会理事長である尾身茂先生をお迎えして、[新型コロナウイルスこれまでとこれから]と題してご講演をいただきました。

今回の交流会は広く告知はおこなわず、病診連携、病病連携の関係者のみご案内をさせていただきましたが、予想を大きく上回る多数の方にご出席いただき誠に感謝しております。



● ● ホスピス週間 ● ●

看護部 緩和ケア認定看護師 小林潤子

このイベントは、毎年10月に東京病院、信愛病院、複十字病院、訪問看護ステーションほほえみ、東久留米市にあるNPO法人緩和ケアサポートグループ、東久留米白十字訪問看護ステーション、東久留米なごみ内科診療所、東久留米市在宅療養相談窓口による共同主催で、市民の方々への緩和ケアの啓発・普及を目的として、当院は2015年から参加しています。コロナ禍以前は、講演会や緩和ケア病棟の見学ツアーが好評で、当院からも多くの医療従事者がツアーを体験されています。

がんを始めとした病気になっても安心してこの街の中で暮らせるよう、地域での連携を進めています。また活気あるイベントが開催できることを願っております。



複十字病院パネル展示



清瀬市役所パネル展示

第16回 院内発表会

実行委員長 中浦 寛



2023年11月11日に第16回院内発表会が行われました。前回の2019年開催以降、コロナ感染症のため開催が延期となっていました。今回4年ぶりの開催となりました。

開催形式は、これまでの「対面式」と異なり「WEB+パブリックビューイング」方式で行われました。

演題数は以前より縮小されましたが、口演発表19演題と教育講演を行っていただきました。

今回は、口演を「セッションA. 病院の顔・心」「セッションB. 診療を支える縁の下の力持ち」「セッションC. 患者のための臨床」の3セッションに分けて行いました。

WEB形式ではありましたが、質疑応答も活発に行われました。

審査員により、セッションごとに優秀賞が1演題ずつと、院長賞として1演題が選考され、以下の4演題が受賞されました。



- セッションA** 2S病棟 (演者 黒沢千映子) : 日々状況変化する新型コロナ病棟での3年間の総括
- セッションB** 病理診断部 (演者 上杉正好) : スライドイメージの作成とその活用
- セッションC** 緩和ケア内科 (演者 齋藤雅美) : 緩和ケア内科活動報告



- セッションB** 企画広報課 (演者 鈴木博恵) : 病院公式Twitterの立ち上げ・運営

また、防災管理委員会の内山先生より「今、清瀬で恐れるべき地震とは？」とのタイトルで教育講演を行っていただきました。

概算ではありますが、WEBやパブリックビューイングにて約150名程度に参加していただきました。

本当に多くの方々に参加していただきありがとうございました。

最後に、予防会本部より尾身理事長、羽入専務理事、他の皆様、教育講演いただいた内山先生、演者と座長の皆様、発表会の準備から終了までを支えていただいたスタッフの方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

清瀬市魅力紹介

清瀬市シティプロモーション課

清瀬市は、水と緑に恵まれた豊かな自然環境、程よい快適性と利便性を兼ね備えたコンパクトシティです。

まちの至るところで季節の花々に出会い、春にはカタクリと桜が、夏にはアジサイとヒマワリが、秋にはヒガンバナ、そして冬にはニホンスイセンが群れ咲きます。

北部を流れる柳瀬川の川沿いにある台田運動公園では、この時期、寒い冬をじっと耐えて、春の日々がもう近くまで来ていることを一番に教えてくれる梅の花が見ごろです。暖かな色合いを含む明るく濃い紅色の花びらに加えて、近づくと感じるができるフローラルな華やかで甘い香り。色も香りも楽しむことができます。

台田運動公園では、四季折々の野草がかれんな花を咲かせ、散策をしながら季節の移ろいを感じることができます。清瀬にお越しいただいた折に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



大地、震へる前に 規制除外車両編 1-④

内山 隆司

(前回までの経過) 震災時の交通規制(第一次、第二次)のあらましを述べた。

交通規制(「緊急自動車専用路」「緊急交通路」の指定)は、東京都内(島しょ部除く)で震度6弱以上の地震発生後に順次発動されるが、震災対策としての道路準備は地震発生前から始まっている。「緊急輸送道路」の指定がそれである。当院前の道(バス停側)も「緊急輸送道路」に指定されている。

「緊急輸送道路」とは、震災時に避難や救急搬送・消火活動、緊急物資輸送を担う道路のことで、震災被害の最小化、早期復旧を図るためには、その沿道の耐震化を進め、建物の倒壊による道路閉塞(図参照)の防止が重要となる。



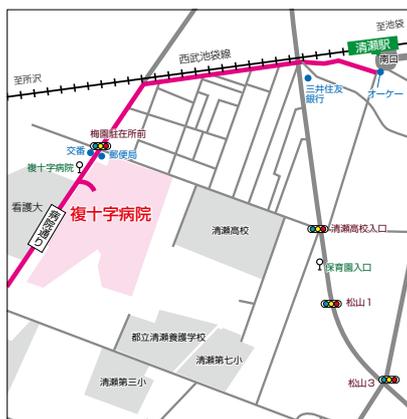
阪神淡路大震災(神戸)

人体に例えるならば、道路は血管であり、その閉塞は組織(地域)の壊死(破壊)を招く。それは病院でも同様である。当院の現状では、病院を中心とした半径5-6kmの徒歩もしくは自転車登院圏内居住の医師数は10名前後である。市医師会の協力計画もあるが、震災時にも病院機能を維持するためには、より遠方居住の医師の自転車もしくは自家用車での登院が必要である。医師以外の職種の病院近傍居住者の割合は、医師に比し大きい。

震災時の医師の登院のための自家用車の使用が倫理に触れるとは思わない。また、すべての道路で自家用車の運転が法令で禁止されるわけでもない。さらに、第一次交通規制の発動(道路交通法に依る)は地震発生と同時にであるが、清瀬近辺の規制対象道路は関越道だけである。第二次交通規制の発動(災害対策基本法に依る)は、被害状況が概ね判明する地震発生から12~24時間後が目安とされている(東日本大震災では約20時間後)。両規制対象道路ともに他道路との交差点の通行(横断)は、可能である(2023年12月14日東村山警察署に確認)。

自家用車で登院中に、万が一警察の検問に引っかかった場合の対策として、日頃から医師免許証コピーをダッシュボードに入れておくことをお勧めする。当然、運転免許証の携行は必須である。コンプライアンス(法令遵守)とは単に規則に従う事ではなく、規則を進歩させる意思を持つことでもあると思う。

この「編」終わり 次回から「トイレ編」を開始予定▶



複十字病院は
公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

- 受付時間
平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00
- 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約
電話 042-491-9128
FAX 042-491-3553
- 再診・初診(紹介状なし)のご予約
電話 042-491-6228

複十字病院
〒204-8522
東京都清瀬市松山3-1-24
代表電話 042-491-4111
代表FAX 042-492-4765



交通のご案内

- 電車でお越しの方
・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
バス停より徒歩5分
- お車でお越しの方
・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり西に300メートル
・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル